

生物科学学会連合 第26回定例会議 議事録

日時：2022年11月28日（月）16:00～18:00

場所：東京大学理学部2号館 講堂（東京都文京区本郷7-3-1 東京大学本郷キャンパス内）

出欠状況：

出席（加盟団体）： *印は兼任または重複出席者を示す。

運営委員（副代表ならびに運営委員は候補者）

小林 武彦*（生科連2021-2022代表）

井関 祥子（生科連副代表） 松永 幸大*（生科連副代表）

中野 明彦 片山 豪* 後藤由季子

団体代表

宮下 直*（個体群生態学会）

東原 和成（日本味と匂学会）

市村浩一郎（日本解剖学会）

石田健一郎（日本植物学会）

松永 幸大*（日本植物生理学会）

宮下 直*（日本生態学会）

渡邊 力也（日本生物物理学会）

南沢 享（日本生理学会）

寺北 明久（日本動物学会）

永田 崇（日本比較生理生化学会）

岡部 聡（日本微生物生態学会）

井手 竜也（日本分類学会連合）

諫田 泰成（日本薬理学会）

田辺 秀之（染色体学会）

菱田 卓（日本遺伝学会）

大出 晃士（日本時間生物学会）

野崎 久義（日本植物形態学会）

水島 昇（日本生化学会）

片山 豪*（日本生物教育学会）

竹居光太郎（日本神経化学会）

津本 浩平（日本蛋白質科学会）

鎌田真由美（日本バイオインフォマティクス学会）

神田 真司（日本比較内分泌学会）

藤田 敏彦（日本分類学会連合）

竹内 理（日本免疫学会）

（計24団体）

欠席（加盟団体）： 日本宇宙生物科学会 日本細胞生物学会 日本実験動物学会 日本進化学会
日本神経科学学会 日本人類学会 日本発生生物学会 日本組織細胞化学会
日本農芸化学会 日本分子生物学会

（10団体）

（加盟合計34団体）

出席：佐々木猛智（自然史学会連合）

大杉 美穂（会計監査委員）

宮下 直*（会計監査委員）

小林 武彦*（日本学術会議基礎生物学委員会委員長）

岸本 健雄（国立沖縄自然史博物館設立準備委員会）

（敬称略、加盟団体名50音順）

事務局 村田 英樹 東海 春香

議題・報告：

1.代表挨拶

小林代表より、第26回定例会議開催に当たり挨拶が述べられた。

2.前回議事録確認について

第25回定例会議議事録(案)が確認され、修正がある場合事務局まで連絡するよう依頼がなされた。

3.令和5・6年度代表の選出について

松永副代表より、令和5・6年度代表の選出に当たり、これまでに加盟団体より以下の2名の候補者が推薦されている旨の報告がなされた。

- ・石川義弘氏(日本生理学会より推薦)
- ・東原和成氏(日本生化学会より推薦)

また松永副代表より、生物科学学会連合運営規約、代表選出議決細則ならびに事前投票取扱細則に基づき、投票による選出方法が説明され確認された。

引き続き投票が行われ、田辺秀之氏を立会人として開票作業が行われた結果、東原和成氏が令和5・6年度代表に選出された。引き続き、東原次期代表より挨拶が述べられた。

4.令和3年度会計報告について

事務局より資料に基づき令和3年度決算報告について、ほぼ例年通りだが、寄付金収入で収入が増えていること、入試問題セット作成費、大学入試問題正解購入費が活動費に計上されている旨が説明された。また、大杉美穂、宮下直両会計監査委員による会計監査が行われ、監査の結果、正確妥当なものであるとの監査証明書を受領したとの報告がなされ、令和3年度会計報告が承認された。

5.令和5年度予算案について

事務局より、資料に基づき令和5年度予算案について、令和4年度と同様の活動を行う想定で、収支ともに令和4年度と同額にした旨の説明がされた。協議の結果、原案通り承認された。

6.新規加盟学会について

松永副代表より、小林代表在任期間中(令和元年～令和4年)までに、日本人類学会、日本組織細胞化学会、日本バイオインフォマティクス学会の3団体が新規に加盟されたと紹介がなされた。活動趣旨にご賛同いただける団体で推薦がある場合、情報を提供して欲しいと依頼がなされた。

7.関連国際会議について

井関副代表より、周知したい国際会議について確認がなされた。時節柄国際会議の開催は難しく、本会議では情報の共有はなかった。

8.IBO・JBO(国際生物学オリンピック)について

道上達男国際生物学オリンピック日本委員会運営委員長が本会議ご欠席の為、予めご提出いただいた2022年7月～11月期活動報告の資料について確認がされた。

9.研究費・人材育成委員会について

井関副代表(委員長)より、若手研究者研究費に関する調査について、加盟団体からいただいたご意見及び文部科学省にも調査を行いつつ、次期以降要望を提出する旨、報告がなされた。また、要望提出のタイミングについて、意見交換がなされた。

10.生物教育・大学入試問題検討委員会について

片山委員長より、大学入試問題において「生物基礎」及び「生物」における用語の扱いに関する調査の中間報告がなされた。引き続き、高等学校の生物教育における重要用語のアップデート版を作成の為、「生物基礎」を中心に用語選定の要望調査を行った結果の説明がなされた。次期以降「生物」中心の用語選定調査を行う為、引き続き加盟団体へ協力依頼がなされた。

11.地球生物プロジェクト委員会について

(1) 高校生 生きものの“つぶやき”フォトコンテストについて

小林代表（委員長）より、第4回高校生 生きものの“つぶやき”フォトコンテスト応募が10月31日に締切となり、約200件の応募をいただき、現在、審査が行われていると報告がなされた。

(2) 公開シンポジウムについて

小林代表（委員長）より、第3回公開シンポジウム「生態系と生物を活かしたカーボンニュートラル」が12月11日に開催される旨、情報共有がされ、参加登録の受付が12月7日まで行われている為、情報周知のご依頼がなされた。

12.「未来の学術振興構想」について

小林代表より、日本学術会議「未来の学術振興構想」の策定に向けた「学術の中長期研究戦略」の公募について、情報共有の為、応募予定の有無を問うアンケートを行った結果の報告がなされた。

13.内閣府への提言に連名の可否について

小林代表より、日本化学連合より依頼のあった「学協会に係る法人制度—運用の改善と弾力化について」の提言書へ生物科学学会連合としての連名可否について、事前に各加盟団体に協議していただいた回答をまとめた結果について説明がなされた。協議の結果、加盟団体の2/3以上である30団体が賛同し、「学協会に係る法人制度—運用の改善と弾力化について」の提言書へ生物科学学会連合として連名することが承認された。

14.日本学術会議について

小林代表より、10月に総会が想定されていたが、開催が12月中旬に開催予定が変更となった為、特段報告事項がない旨、説明がなされた。

15.国立沖縄自然史博物館の設立活動について

岸本健雄国立沖縄自然史博物館設立準備委員会代表理事より、資料に基づき国立沖縄自然史博物館の設立に向けた取り組みの進捗状況について報告がなされ、引き続き加盟団体への協力依頼がなされた。

16.その他

今期にて、生物科学学会連合運営委員会の任期が終了となる為、運営委委員よりそれぞれ挨拶が述べられた。

以上